

# 萱瀬小だより



## やさしさ ゆめ げんき

令和3年3月4日  
No. 2 2  
文責 福永琢也

### ☆確実に春に向かって

朝の立哨の時、学校を退庁するときと、明るさから日の伸びを感じ、同時に空気の刺すような冷たさも感じなくなり、春の到来を予感しています。

記事にもしていますが、学校では卒業関連の行事が続き、子どもたちも変わり目をそれぞれ意識しています。そして実際に一ヶ月後には6年生を含めて新しい環境に身を置くこととなります。そのことをイメージしている子どもたちの心には、新たな環境に対する期待感が芽生え始めます。そしてそれは新学期の「やる気」の源となります。我々大人は「やる気」をしっかりと感じ取り、実際の行動につながるように見守り、励ましていきます。そして次年度がまた、子どもたちにとって充実した1年間となるように願っています。

### ☆伝統を受け継ぐ大切な集会

2月25日(金)に例年バトンタッチ集会という名の下に行っていた集会を行いました。残念ながら昨年引き続き動画による視聴となりました。この式は、次年度のリーダーとなる5年生が6年生から校旗を引き継ぐという形を取る式です。今年度の児童会メンバーから引き継ぎの言葉があり、新しい児童会メンバーが決意を述べ、その後今年度の児童会長「XXXXXXXXXX」さんから、新しい児童会長「XXXXXXXXXX」さんへ校旗が渡されました。このことは、これまでの萱瀬小学校の伝統を引き継ぐことでもあります。次年度どのような萱瀬小学校を作り上げてくれるか、今から楽しみなところですよ。



### ☆卒業が見えてきました

3月1日(火)に6年生を送る会を行いました。例年は体育館で全校で行うのですが、昨年度に引き続き動画での視聴という形で行いました。6年生一人一人に感謝の言葉を話す、クイズで教室等の紹介をする、クイズで6年生一人一人を紹介するなど、どの学年も温かい心遣いとアイデアに溢れるものでした。それに対して6年生もカルトな内容のクイズ、ダンスとこちらも6年生らしさが十分感じられる内容でした。残りの2週間、感謝の気持ち、それを受け取る気持ちをもちながら過ごしてくれるものと思います。

